

各 位

会 社 名 株式会社ヤマノホールディングス
 代 表 者 名 代表取締役社長 山野 義友
 (J A S D A Q コード番号 7571)
 問 い 合 わ せ 先 取締役専務執行役員
 管理本部長 岡田 充弘
 電 話 番 号 0 3 - 3 3 7 6 - 7 8 7 8

2020年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年5月15日に公表した「2019年3月期決算短信[日本基準](連結)」において公表しました2020年3月期の業績予想について、下記のとおりとしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 14,000	百万円 250	百万円 240	百万円 150	円 銭 4.41
今回修正予想(B)	14,100	200	190	100	2.97
増減額(B-A)	100	△50	△50	△50	
増減率(%)	0.7	△20.0	△20.8	△33.3	
(ご参考)前期実績 2019年3月期	14,105	245	265	141	4.14

2. 修正の理由

上期の業績は、消費増税前の駆け込み需要や前期に子会社化した株式会社みうらの貢献等もあり、計画を若干上回る進捗となりました。下期においては、10月に相次ぎ襲来した台風や豪雨の影響により、展示販売会等での来店客数減が発生した状況もありますが、当社グループの成長戦略であるM&Aを推進し、2019年10月1日付で美容事業を営む株式会社L.B.Gを新たに子会社化するとともに、今後の事業拡大に向け、グループ管理体制の一層の強化を図るために人員増強を実施しております。

係る状況を踏まえ、下期の売上高については、既存事業での来店客数減による売上高減少影響が若干あるものの、株式会社L.B.Gを子会社化したことによる増収もあることから、前回予想から微増といたします。利益面においては、人員増強によるコスト増やM&A実施による株式取得関連費用が一時的に発生することのほか、来店客数減による売上総利益の減少影響等を勘案し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益とも前回予想を下回る見込みといたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上